



書き手: 堀江 敏幸

書評

『I was born—ソウル・パリ・東京』(松柏社)

2020/01/19



I was born—ソウル・パリ・東京

著者: ミーヨン / 出版社: 松柏社 / 装丁: 単行本 (254ページ) / 発売日: 2001-07-00 / ISBN-10: 4881989707 / ISBN-13: 978-4881989708

内容紹介:

ソウル・パリ・東京という距離と時間を縦横無尽に駆け抜けながら、著者ミーヨンは「自分は何者であるか」を問い続ける。この不思議なエッセイ集は一人の韓国女性性のまぎれもない「リアル」である。

小さな差異

差異は小さければ小さいほどわかりにくい。明確に説明することはできないけれど確固としてある、かすかな皮膚の痛みにも似た感覚。しかし小さくて微妙な差異こそ、じつは決定的に大きなずれを生み、同時に理解への扉を開いてくれるものだ。

ソウルに生まれ、写真を学ぶために留学したパリで日本人男性と結ばれて、現在は東京に住む著者がはじめて日本語で書きあげた本書には、厄介で、かついとおいしい奇妙な痛みの感覚が、いたるところで顔を出す。少女時代には楽しく遊ぶこともあったふたりの兄たちとの、海外に出るとき娘の写真を携行してくれたやさしい父との、かつては洋服の趣味まで一致していた母とのあいだに、徐々に生じてくる齟齬(そご)。

そうした身近な存在の変容を頭ごなしに否定せず、いとおいさを伴う痛みにも留め得ているのは、異境での体験があるからだ。たとえばパリ。あの街には東洋人として一括される人間がいる。日本人も韓国人も台湾人も中国人もひとまず東洋人になり、自身が属している血や国籍や歴史や言語にまわりつく背景が消されて、似たもの同士になる。紋切り型のイメージにとらわれることなく、冗談まじりに本質的な批判も口にはできるのだ。

問題は、その先にある。有益な差異がなんとか見えてくるのは、「異なるとしても、それは国が違うからではなく、一人ひとり個人が違うからなのだ」との思いにたどり着いたあとのことだからだ。日本で暮らすようになって、著者はなにが正

指1本で痛みから

(すべて無料で公開)腰痛、から卒業するための指1本治療院マーケティング

RAN

ラン



1



2



3



4

いたが

(青幻)

しくてながまちがっているのか、安易に白黒をつけない。ひたすらその差異に感覚を研ぎ澄ます。

だから「人は、自分の経験していない世界に対して、どれほどの理解を抱くことができるのだろうか」という自問への完璧な答えはない。あるのはただ、三つの都市で生きたのち、「ナニジンである前に、私でありたい」と日本語で記し、それを華美でない映像で支える書き手の眼差しだけである。

【この書評が収録されている書籍】



本の音
著者：堀江 敏幸 / 出版社：中央公論新社 / 装丁：文庫 (269ページ) / 発売日：2011-10-22 / ISBN-10：4122055539 / ISBN-13：978-4122055537

内容紹介:
愛と孤独について、言葉について、存在の意味について-本の音に耳を澄まし、本の中から世界を望む。小説、エッセイ、評論など、積みあげられた書物の山から見いだされた84冊。本への静かな愛にみちた書評集。

ALL REVIEWS経由で書籍を購入いただきますと、書評家に書籍購入価格の0.7~5.6%が還元されます。



I was born—ソウル・パリ・東京
著者：ミーヨン / 出版社：松柏社 / 装丁：単行本 (254ページ) / 発売日：2001-07-00 / ISBN-10：4881989707 / ISBN-13：978-4881989708

内容紹介:
ソウル・パリ・東京という距離と時間を縦横無尽に駆け抜けながら、著者ミーヨンは「自分は何者であるか」を問い続ける。この不思議なエッセイ集は一人の韓国女性性のまぎれもない「リアル」である。

ALL REVIEWS経由で書籍を購入いただきますと、書評家に書籍購入価格の0.7~5.6%が還元されます。

- #ミーヨン
- #松柏社
- #日本のエッセイ・随筆
- #エッセイ・随筆
- #文学・評論
- #単行本
- #近現代日本のエッセイ・随筆
- #ビジネス・経済

この書評をシェアする

--	--	--	--	--



RECENT

最新の書



メールレター
(週刊ALL REVIEWS)



週に一度お届けする
書評ダイジェスト！
登録はこちら➡

ALL REVIEWS
友の会

「新しい書評のあり方」を探す
ALL REVIEWSのファンクラブ
入会はこちら➡

関連記事

- 張 競の書評『コロンビア大学 現代文学・文化批評用語辞典』(松柏社) 著者：ジョゼフ・チルダース、ゲリー・ヘンツィ
- 藤森 照信の書評『ぼくの子ども時間』(筑摩書房) 著者：南 伸坊
- 森 まゆみの書評『鷗外随筆集』(岩波書店) 著者：森 鷗外
- 豊崎 由美の書評『本を読む前に』(新書館) 著者：荒川 洋治
- 豊崎 由美の書評『新解さんの謎』(文藝春秋) 著者：赤瀬川 原平

ALL REVIEWSをフォローする

Facebook公式ページ

Twitter公式アカウント

LINE@

Feedly

メールマガジン

初出メディア

朝日新聞
DIGITAL

朝日新聞 2001年9月2日

朝日新聞デジタルは朝日新聞のニュースサイトです。政治、経済、社会、国際、スポーツ、カルチャー、サイエンスなどの速報ニュースに加え、教育、医療、環境、ファッション、車などの話題や写真も。2012年にアサヒ・コムからブランド名を変更しました。



堀江 敏幸
TOSHIYUKI HORIE

1964年、岐阜県生まれ。作家、仏文学者。現在、早稲田大学文学学術院教授。主な著書として、『郊外へ』『おぼらばん』『熊の敷石』『雪沼とその周辺』『未見坂』『河岸忘日抄』『めぐらし屋』『なずな』『燃焼のための習作』『その姿の消し方』、書評・批評集として、『書かれる手』『本の音』『彼女のいる背表紙』『余り...

勝ちたい方に使ってほしい

元大和証券の有宗良治が教える

サイエンス株投資術

全面安でも関係なし
株初心者でも相場で
稼ぐための極意とは？

提供：株式会社ストックジャパン 関東財務局長(株)

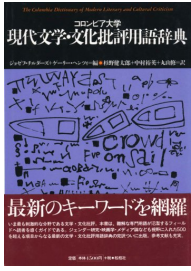
最大級/横浜未公開不動産

好条件の物件は早い者勝ち！誰より先にシティネットでマイホームを検索

指1本から!

(すべて無腰痛、肩再発からの指1本)

治療院マ-



『コロナビア大学 現代文学・文化批評用語辞典』(松柏社)

著者:ジョゼフ・チルダース、ゲラーイ・ヘンツイ



張競

書評

ぼくのコドモ時間
南 伸坊



『ぼくのコドモ時間』(筑摩書房)

著者:南 伸坊



藤森 照信

三角ベス、防空壕、さかあがり、遠足。
心細くて不安だったけど、面白いことも沢山あった。
ワクワク、ドキドキした、あの時代にタイムスリップ。
5(小学館 文庫(おとこ版)769頁・硬)

書評

鷗外随筆集

『鷗外随筆集』(岩波書店)

著者:森 鷗外

森まゆみ

書評

本を読む前に

『本を読む前に』(新書館)

著者:荒川 洋治

豊崎 由美

書評

新解さんの謎

『新解さんの謎』(文藝春秋)

著者:赤瀬川 原平

豊崎 由美

書評

トリエステの坂道

『トリエステの坂道』(新潮社)

著者:須賀 敦子

森まゆみ

書評

堀江 敏幸の書評/解説/選評

歴史の風 書物の帆

『歴史の風 書物の帆』(小学館)

著者:鹿島 茂

堀江 敏幸

解説

帰る家もなく

『帰る家もなく』(ポードアイ
ンク)

著者:与那原 恵

堀江 敏幸

書評

『作家の手紙をのぞき読む』
(講談社)

著者:佐伯 彰一

堀江 敏幸

書評

『イタリア・トスカーナに暮らして』(白水社)

著者:エリザベス・ローマー

堀江 敏幸

書評

ユリシーズの涙

『ユリシーズの涙』(みすず書房)

著者:ロジェ・グルニエ

堀江 敏幸

書評

モロッコ流謫

『モロッコ流謫』(筑摩書房)

著者:四方田犬彦

堀江 敏幸

書評

自作のHPに限界を感じている方へ

孤独に一人で頑張るより、プロの力を借りてみませんか？サポートつき自作支援サービスのご紹介 あきばれホームページ

[ホーム](#) | [ALL REVIEWSとは](#) | [書評家](#) | [書評/解説/選評](#) | [読書日記/コラム/対談・鼎談](#) | [特集](#) | [ニュース](#) | [サポートスタッフ](#) | [イベントカレンダー](#) | [メールマガジン](#)
[プライバシーポリシー](#) | [お問い合わせ](#)

ジャンル一覧: [文学・評論](#) [人文・思想](#) [社会・政治](#) [ノンフィクション](#) [歴史・地理](#) [ビジネス・経済](#) [投資・金融・会社経営](#) [科学・テクノロジー](#) [医学・薬学・看護](#)